2019年度　強化合宿レポート(5月)

JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター
競技力向上事業

作成：山本広報

■日時　：　2019月5月18日（土）～19日（日）
■場所　：　東京都足立区舎人公園、帝京大学八王子キャンパス
■参加者：

《強化育成選手》

親松直人(19日のみ)、今井悠翔(19日のみ)、門根維吹、伊藤俊貴、小童谷優真
喜多美結、河邉美佐、鈴木梨子(19日のみ)、有川若菜(19日のみ)

《スタッフ》

松下強化統括部長(18日のみ)、伊藤強化統括副部長(19日のみ)、佐野村トレーナー、八田トレーナー
森本理事長(18日のみ)、伊久美通訳(19日のみ)、梶野事務局、山本広報

■■5月18日(土)　9～17時

ディアドラデフテニスカップ(交流実戦)に参加
関東のトップレベルの選手とシングルス・男子ダブルス・女子ダブルス・ミックスダブルスを実施
ダブルスでは1ポイント毎にペアで声を掛け合う・戦術の意識合わせなど、
コンビネーションの質を高めることを特に意識して臨みました。

■■5月19日(日)　9～16時

2日目は佐野村トレーナーが教鞭を取っている帝京大学にて、3つの講義を受けました。
①スポーツ心理学：講師　緒方貴浩先生(帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 助教)
②スポーツ栄養学：講師　横田由香里先生(帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 講師)
③コンディショニング：講師　佐野村学先生(帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 准教授)
④トレーニング(実技)：講師　佐野村学先生(帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 准教授)

2日目集合写真

■松下強化統括部長コメント

1日目のディアドラデフカップは関東にて初めて開催するろう者と健聴者の交流試合です。
強化選手5名が参加しました。
健聴者プレーヤーのレベルを見ると勝てない相手ではなかったのに、男子シングルスは優勝することができませんでした。
技術が足りないこともありますが、優勝するという意気込みが見られなかったのが残念だと感じました。
そこで私は真剣に集中してやるように注意をしました。
女子ダブルスは優勝することができました。実力を考えれば当然の結果だったと思います。
ただ、イージーミスが多すぎたので、国際大会でそのようなイージーミスをするようではメダル獲得は無理！と喝を入れました。
男女共に喝を入れたことで、今後選手の意識の変化があり良い試合をするようになってもらえたらと思います。